

許麻の里
 沢辺に生ふる
 かきつばた
 君か手毎に
 水やかかさん

久宝寺地区



発行者
 久宝寺小学校区まちづくり協議会
 会長 笠原 彰
 久宝寺地区福祉委員会
 委員長 佐野 公一
 八尾市北久宝寺2丁目1番1号
 電話 072-922-2233

新春号

いつまでも 心豊かに住み続けたいまち 久宝寺!!
～コミュニケーションと思いやりで 心をあわせて～

今年もよろしくお願ひします!!

コロナ禍を経て、昨年はずっかり日常生活がもどってききました。

「久宝寺小学校区まちづくり協議会」や「久宝寺地区福祉委員会」の事業も計画通りに進めることができ、皆さまの笑顔と賑わいももどってきた一年でした。

今年も、地域の絆を大切にしながら、行事や活動を充実してまいります。

実り多い一年になりますよう取り組んでまいりますので、皆さまのより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

本新春号では、コロナ禍の数年間、その活用がますます拡大普及した「ネットワーク社会（略：ネット社会）」の生活について取り上げました。

テレビなどさまざまな媒体でも多く報じられています。改めて、整理しましたので、快適なネット社会での暮らしの参考にしていただければ幸いです。

また、裏面には、昨年同期に実施した活動や取り組みを紹介させていただきます。

♡ネットワーク社会について

ネット社会には、現代の日常の生活において色々な便利さとリスクが共存しています。

インターネットの普及により、私たちはさまざまな情報に容易に接したり発信することができ、生活の多くの面で恩恵を受けています。

しかし、同時にネット上には多くの危険も潜んでおり、そのリスクを理解し、適切に対応して活用することも重要です。

◇ネットワーク社会のよいところ
 一つ目の利点は、情報へのアクセスが格段に向上したことです。

インターネットを通じて、国内外のニュースや学術的な情報、趣味に関する知識など、あらゆる情報を瞬時に手に入れることができます。

例えば、Googleやウィキペディアといった検索エンジンやオンライン百科事典を活用することで、必要な情報をすぐに調べられるようになりました。これにより、自己学習の機会が広がり、知識の共有が進んでいます。



二つ目の利点は、コミュニケーションの多様化とスピードアップです。

インターネットがあれば、場所や時間に縛られずに友人や家族と連絡を取り合うことができ、ビデオ通話やチャットを通じてリアルタイムでやり取りが可能です。

また、SNS（ソーシャルネットワークサービス）を利用することで、共通の趣味や関心をもつ人々と簡単につながることができ、新たな人間関係を築く機会が増えました。

三つ目の利点は、サービスの利便性です。

オンラインショッピングやデジタル決済が普及したことで、わざわざ店舗に出向かなくても買い物や支払いが出来るようになり、生活がより便利になってい

ます。また、動画配信サービスや音楽ストリーミングなどのエンターテインメントも充実し、自宅に居ながら多くのコンテンツを楽しむことが可能です。

これらのサービスは、時間やコストの節約にもつながっています。

◇ネットワーク社会の危険性
 一方で、ネット社会にはいくつもの危険性もあります。

まず、個人情報の流出やプライバシーの侵害が大きな問題です。

ネットワーク上での情報共有が一般的になる一方で、悪意のある第三者によるハッキングや詐欺が増え、私たちの個人情報が悪用されるリスクが高まっています。

例えば、SNSに安易に個人情報や日常の詳細を公開することで、ストーカー被害や詐欺・犯罪に巻き込まれる可能性もあります。

次に、ネット依存やメンタルヘルスへの影響です。

SNSの過剰な利用やゲーム依存が問題視されており、特に若年層の間では、ネットワーク上での「いいね」やフォロー数を気にするあまり、自己評価が下がったり、不安やストレスを抱える人が増えています。

これにより、実生活での対人関係が疎遠になることや、健康を害することもあるため、適度な利用を心がける必要があります。

また、ネットワーク上での虚偽情報の拡散も深刻な問題です。

SNSやブログなどで、誰でも簡単に情報を発信できる環境が整っている一方で、事実でない情報やフェイクニュースが瞬く間に広がり、社会に混乱を引き起こすことがあります。

例えば、新型コロナウイルスに関する誤った医療情報などが拡散されたことにより、不安や混乱が助長されました。

◇ネットワーク社会と向き合うために

ネット社会の利便性を享受するためには、上記のリスクを理解し、適切に対処することが求められます。

まず、個人情報の管理を徹底し、必要以上に個人情報を公開しないことが重要です。

また、ネットワーク利用時間を制限し、リアルな対人関係や趣味にも時間を割くことで、依存のリスクを減らせます。

さらに、情報の正確性を見極める力を養うことも大切です。

ネットワーク上で得た情報にすぐに飛びつくのではなく、複数の信頼できる情報源から裏付けをとる習慣をつけることで、フェイクニュースやデマに惑わされにくくなります。

このようにネット社会には多くの便利さとともに危険性が存在しますが、私たちがこれらを正しく理解し、自創心をもって利用することで、その利点を最大限に活かしつつ、快適で安全に過ごすことができます。

(引用：インターネットの関連記事を要約)

♡ネットワーク被害にご注意を!

ネット上には、さまざまな詐欺などの犯罪が潜んでいます。

数え切れないそれらの事例の内、身近にあるものをご紹介します。

・SMSやメールでのフィッシング詐欺にご注意!

実在する組織をかたるSMSやメールを送信し、IDやパスワード、暗証番号、クレジットカード番号などを搾取し、カードなどを不正使用するものです。

・ウェブサイト閲覧中の二重の警告音に騙されないで!

突然、警告音が鳴りだし、画面上の電話番号に連絡させるように仕向ける事例です。

突然、音や画面表示が出て、慌てず落ち着くこと。警告画面記載の電話番号にはかけないこと。ブラウザの画面を閉じること。

・「お試し」「一回だけ」のつもりが定期購入だった!

ホームページ広告を見て、低価格で購入できると思って申し込んだが、数か月間の定期購入が条件だった。

・「インターネット」通販 代引き配達で偽物が!

「大幅な値下げ」「日本語がおかしい」「代引き配達しか選択できない」など、少しでも怪しいと思ったら取引を控えましょう。

・親のカードでオンラインゲームに高額課金!
 家族で貸し借りするスマートフォンやタブレット端末などにクレジットカード情報を登録したままにし、子どもが無断でオンラインゲームに課金してしまった。
 ・著名人を名乗る投資話の勧誘にご注意!
 著名人本人が無断で名前や写真を使用した投資勧誘が横行しています。公式サイトやアカウントなどで確認するようにしましょう。

(協力：八尾市消費生活センター)

♡イザに備えて「安否確認と避難訓練」！

11月24日(日)の朝、久宝寺地区の各ブロック・町会単位で「安否確認訓練と避難訓練」を、また、10時から、久宝寺小学校で住民の皆さまやスタッフ合わせて約330名が参加し「消火訓練・煙中体験・簡易担架訓練・車いす体験・炊き出し訓練」などの「防災訓練」を実施しました。

今回の訓練の主な目的は、久宝寺小学校校区まちづくり協議会が中心となって策定を進めている「地区防災計画」の内、2回のワークショップを通じてまとめた地域毎の「安否確認と避難経路・避難場所」の行動マニュアルを実際に検証すること



♡「避難所開設・運営訓練」を行いました！

同日11月24日(日)午後、久宝寺小学校体育館で「地区防災計画」策定の一環として、「避難所開設・運営」についての検討と計画づくりを行いました。

久宝寺地区の各ブロックの代表者と防災リーダーなどのメンバーが参加し、避難所開設時のポイントとなる「敷地内・建物の安全確認」「受付」「トイレの設置」や「避難所レイアウト」について、実際に避難場所となる現場で検討・シミュレーションしました。

今回の成果を、前記の「安否確認・避難行動」と共に「地区防災計画」に組み入れるとともに、今後の防災訓練などで実施して改善を図っていきます。



子ども達の健やかな成長を願って

♡「キッズシアター」で楽しく体験！

久宝寺小学校校区まちづくり協議会の主催で、11月17日(日)に久宝寺小学校5・6年生を対象として「キッズシアター甲子園」に行ってきました。

60以上のパビリオンが立ち並び、子ども達が様々なお仕事を体験できる施設です。食べ物調理したり、ものづくりができた、本物さながらの作品を持ち帰ることができ、知らなかったお仕事にも興味を沸かしたのではないのでしょうか。



♡みんなで楽しく遊びました！

♡今や珍しい「昔の遊び」！

12月5日(木)久宝寺小学校体育館で、久宝寺小学校一年生との交流授業「昔の遊び」を、授業の三・四限目に関係団体有志の協力のもと開催しました。

時代を超えて愛されてきた「昔の遊び」は、エンターテイメントやゲームなどが浸透している今では、あまり見かけなくなりましたが、「昔の遊び」には、五感を刺激する遊びが多くあり、見直されつつあります。

「おじゃま」「ゴム飛び」「おはじき」「まりつき」などの昔懐かしい遊びで、子ども達と地域の大人が一緒に遊ぶことができました。



遊びを教え伝えた福祉委員会構成団体の大人たちも、童心にかえって楽しみ、子ども達から元気ももらいました。

◇手作りパーク「わくわくD.O.ようび」！

久宝寺小学校PTA主催で、11月9日(土)、「わくわくD.O.ようび」でみんな楽しく過ごしました。

福祉委員会構成団体も協力して、土曜日の半日を子どもと大人が楽しみながら交流する機会です。

運動場では、「わくわくチャレンジ」と題したアスレチック遊びや輪投げ、体育館では、レーザー銃を使った合戦やポッチャボール入れ、また、校舎内では、クラフトあそびや茶道など、工夫されたコーナーがあり、参加の360名あまりの子ども達は楽しく過ごしたと思います。



◇「朝の見守り隊」が意見交換！

久宝寺地区では、自治振興委員会を中心に構成団体や有志の皆さんが、地域の交通量が多く危険な要所を中心に、小中学生の登校時間帯に合わせて「朝の見守り活動」を行っています。

10月30日(水)には寺内町まちなみセンターで、活動の振り返りと、さらに改善を加えるための意見交換をしました。

冒頭に、八尾警察署から「道路交通法改正」と「防犯」についての話があり、その後、メンバーからは、「自転車運転のマナーが悪い」「スピード出す車がある反面、自分から停まってくれる車が増えてきた」など、活動を通しての意見や感想が出されました。



「危険な自転車運転の罰則が整備されました」

道路交通法改正で、11月1日から自転車の危険な運転に対して、新しく罰則が整備されました。

主なポイントは、「酒気帯び運転および補助」運転中のながらスマホで、それぞれ懲役や罰金が課せられます。

この改正は、自転車利用者の安全意識を高め、事故防止と歩行者との共存を図ることで、安全な交通環境を作ることにあります。

♡身近な交通の大動脈「中環をきれいに」

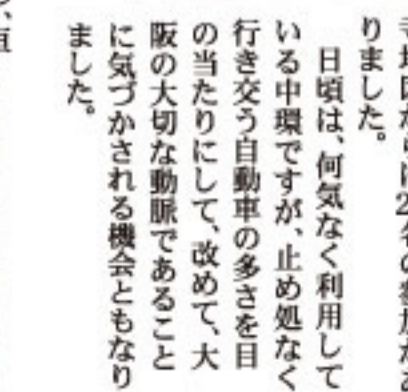
「大阪中央環状線」は、大阪の産業や経済活動を支える大動脈として、重要な役割を担っています。昭和60年に「中環をきれいにする日」が定められ、以降、沿線自治体を挙げて美化活動が行われています。



10月18日(金)、八尾土木事務所主催で、久宝寺緑地の環状線沿いの歩道の清掃を行いました。

当日は、近在の関係機関や団体からの参加があり、久宝寺地区からは25名の参加がありました。

日頃は、何気なく利用している中環ですが、止め処なく行き交う自動車の多さを目の当たりにして、改めて、大阪の大切な動脈であることに気づかされる機会となりました。



♡清々しい新年を！

例の「地域一斉清掃」を実施しました。

当日は、一転して寒さが増した日でしたが、側溝の汚泥やごみ・落ち葉の収集にご近所の皆さまが力を合わせて取り組まれる姿がありました。

清々しく新年を迎えよう。我がまちを美しく暮らしやすく、との思いが伝わってくるひと時でした。

安全・安心を願って「歳末夜警」！

久宝寺地区自治振興委員会が中心となり、昨年12月28日(土)に、七つの町会ブロックで、それぞれの町内の夜警を行いました。

「火の用心の声」と「拍子木の音」が、久宝寺の夜空に響きわたる、来たる穏やかな新年を願いました。



◇久宝寺地区福祉委員会・久宝寺小学校校区まちづくり協議会では、ホームページやFACEBOOKを活用して、行事や活動をお知らせしています。

下のQRコードでアクセスして閲覧ください。

